

日本内視鏡外科学会との連携による「医工連携広場」開催結果

- 九州経済産業局、九州ヘルスケア産業推進協議会は、日本内視鏡外科学会等の協力を得て、去る11月28日(木)～29日(金)において、「医工連携広場」を開催。医療現場と、ものづくり中小企業等との連携促進を目的に、医師による医療現場が抱える課題・ニーズの発表や、それらにソリューションを提供できるものづくり企業等によるシーズ発表、ブース出展等を実施した。
- 本事業は、同学会総会の展示企画の一環として実施。同学会総会においては約4,500人の参加があり、本事業にも多くの医療従事者や関連メーカー担当者等が来場。参加したものづくり企業は、医療従事者との面談等により医療現場のニーズ把握ができ、今後の機器開発のヒント等が得られるなど、参加者からは大変好評を博した。
- 当局としては、九州における医療機器産業の集積を図るため、医療関連学会との連携を進めるなど、「参入支援」や「医工連携マッチング」を引き続き実施していく。 ※同学会の次回総会でも同様な企画の開催が予定(次回総会は東北局管内)。

開催概要

- 名称 第26回日本内視鏡外科学会総会「医工連携広場」
- 日程 平成25年11月28日(木)～29日(土)
- 場所 福岡国際会議場・福岡サンパレス
- 主催 日本内視鏡外科学会、九州経済産業局、九州ヘルスケア産業推進協議会
- 共催 一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ
- 後援 独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)
- 内容 ①ものづくり中堅・中小企業の出展(16社)
②ものづくり中堅・中小企業からのシーズ発表(13社)
③医療現場からの医療機器開発に係る課題・ニーズ発表(13名, 14テーマ)
④医療機器開発に関する相談(PMDA)・パネル討論会 他



学会受付と「医工連携広場」誘導看板



九州経済産業局広実局長挨拶



医師ニーズ発表、企業シーズ発表会場



中小企業展示ブースには、医師や大手メーカー担当者も来訪

参加者の声

- 医療従事者との出会いにより、今後につながる面談の機会を得ることができた。
- 医療現場とものづくり現場との関係構築促進の場となるイベントを今後も継続して開催してほしい。
- イベントに参加している他社と情報交換や製品の宣伝ができた。